

中学生連載企画
私たちのふるさと
松山学 No.3

中島中学校

俳句を通して地域を学ぶ
中島ふるさとかるた

私たちは総合的な学習の時間に、「ふるさと中島」について深く学ぶことを目的とした「地域調べ学習」と、俳句集会での俳句づくりを通して郷土の歴史や文化、自然、産業を俳句に詠み、それを絵で表した「中島ふるさとかるた」を制作しました。

ヒメボタルなど中島の自然はとても美しいので、私たちみんなその自然を守っていきたいです。

はなやかに島をいろいろるヒメボタル



中野 人和さん(3年)

島の人はみんなに気軽に声をかけて優しく温かいので、それをかるたの絵で伝えられたので描きました。

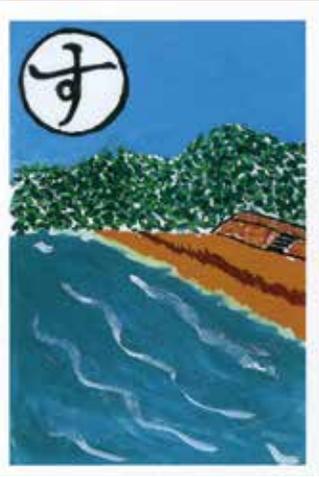
温もりを感じる島の暖かさ



白井 萌恵さん(3年)

中島のことをよく知らない人にも美しい自然に囲まれた中島の良さを知ってほしいという思いで美しい砂浜と森林を描きました。

砂浜に寄せるさざ波ヌカバ浜



濱崎 るなさん(3年)

僕が幼い頃、家の周りで遊んでいるときによく赤手が二を見つけていました。そのときの赤手が二を想像して描きました。

凜とした姿で歩く赤手が二



沖野 陽一さん(3年)

俳句とかるたで中島の魅力を紹介



俳句集会の様子

俳句集会で作った俳句を発表

中島中学校の教育目標「心の通い合う覇気ある生徒の育成」に基づき毎月、全校生徒一人一人が俳句を作り、校内でジュニア俳句甲子園や吟行会、名句鑑賞会で発表しています。各学級に学級図書として置かれている歳時記や、地域調べ学習で見た風景などをもとにしています。俳句集会を通し、自分の意見を積極的に発表したり、地域の良さを学んだりすることができま

中島の魅力満載
中島ふるさとかるた



中島ふるさとかるた

俳句集会で作った俳句をもとに、平成27年3月、生徒手作りのかるたを制作しました。中島文化センターに置いてあり、他にもA2・A3サイズのものも貸し出しています。



ふるさと中島の地域学習のまとめとして「中島新聞」を作成しました。私たちが誇れる中島の歴史や文化・自然をこれからも大切にしていきたいです。

地域の
たから

忽那諸島開発の元祖・藤原親賢ゆかりの寺
長隆寺(中島大浦)



仁王像紅葉を映す長隆寺

寺の縁起によれば、1084(応徳元)年、藤原親賢が遠流に処せられ、その船が忽那島(中島)に停泊したとき、夜中、大里山の峰に光明を発見しました。夜明けとともに上陸し、郭公の導かれ山の中腹に一寸八分の観音像を得ました。大喜びした親賢は、これを本尊としてお堂を建て、「郭公堂」と号し、忽那一族(藤原姓を忽那姓に変えて)の氏寺として、一族とともに永住し、地域の開発に尽力したと伝えられています。また境内には江戸時代、民衆のために尽くした堯音和尚が寄進した梵鐘が残っています。



境内の様子

先人と文化の読み物教材

語り継ぎたいふるさと

松山百話 I・II・III



松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10〜14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることができ